

2024年3月27日

本日 10 時に発信いたしました当ニュースリリース内の
＜オリジナルフレッシュフードの長鮮度化（一部抜粋）＞において、
一部、年号表記の誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに、
謹んで訂正させていただきます。
訂正箇所…手巻おにぎりの長鮮度化 年号 誤) 2023 年 正) 2024 年

『手巻おにぎり』定番商品 5 アイテム 首都圏より順次、鮮度延長へ

～3月5日（火）より導入開始、今夏目途に全国拡大へ～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、オリジナルフレッシュフードの主力商品である『手巻おにぎり』の定番 5 アイテムについて、3月5日（火）以降、販売時間を平均 8 時間延長した規格にて展開を開始しています。首都圏より順次導入し、今夏を目途に全国に拡大いたします。

セブン-イレブンではこれまでさまざまなイノベーションを通じて、オリジナルフレッシュフードの長鮮度*化に取り組んでまいりました。品揃えの有無により発生する店舗での機会ロスと廃棄ロスの低減などを目指した対応として、2009 年の「チルド弁当」の長鮮度化以降、現在ではオリジナルフレッシュフードの約 85%が長鮮度商品となっています。今回、美味しさ・品質と長鮮度化の両立が難しかった『手巻おにぎり』について、新たな設備などの導入により、現行よりも平均約 8 時間の消費期限の延長が実現しました。まずは定番の「鮭」「梅」「昆布」「辛子明太子」「ツナマヨネーズ」の 5 アイテムから取り組み、今後も対象アイテムの拡大を進めてまいります。

今後もセブン-イレブンでは、商品開発におけるメーカー様との連携強化や、フレッシュフード製造工場の強みを生かし、商品の更なる美味しさの実現と環境配慮推進に向けて挑戦を続けてまいります。

*消費期限が 24 時間以上

※一部店舗により取り扱いの無い場合がございます。

＜オリジナルフレッシュフードの長鮮度化（一部抜粋）＞

・2009 年
「チルド弁当」

消費期限：約 1 日→約 2 日半



・2010 年
「惣菜」の一部

消費期限：約 1 日半→約 2 日半



・2011 年
「スパゲティ」

消費期限：約 1 日半→約 2 日半



・2018 年
「サンドイッチ」の一部

消費期限：約半日→約 1 日



・2018 年
「サラダ」の一部

消費期限：約 1 日半→約 2 日半



・2022 年
「ペストリー」の一部

消費期限：約 1 日半→約 2 日



・>訂正 2023年 2024年

「手巻おにぎり」定番 5 種

消費期限：1 日以内→24 時間超



『手巻おにぎり』は、3月5日（火）よりリニューアルしています。
「京の米老舗 八代目儀兵衛」監修のもと取り組んだ「ブレンド米」のブレンド比率を見直したご飯、旨味を向上させた具材、磯の香りと味を感じられる海苔を楽しめる商品に仕上げました。

以上